

難病ケアカフェ

現在、難病支援に関わっている支援者・関わっていきたく思っている支援者同士で
日々の支援で困っている事・悩んでいる事、事例検討や勉強会等
「ああでもない、こうでもない」と座談会のような
ゆる〜い感じで学び合いませんか？

「神経難病の重症期の生活とその支援」

～パーキンソン病～

パーキンソン病の予後はさまざまです。

そこに支援する皆様のご苦労も、ご家族のご苦労もあるかと思いますが、
暮らしを続けようという前向きなものです。

通常重度と呼ばれるパーキンソン病の病状はヤールの4からで、
ウェアリングオフや運動症状の悪化に対する支援が必要な時期のこと になっています。
今回テーマにあげた重症期とは、そこを超えて、経口摂取、呼吸障害、排泄障害、循環障害、
消化器障害など、背景に自律神経障害を抱えた多臓器の障害によって、
生命の危機を抱えた状態での療養です。時期が進めば進むほど、密な連携が必要です。
今回は二事例の在宅支援から、そうした、パーキンソン病の実際の療養に携わっているかたがた、
これから携わって行かれるかたがたと、意見交換の場になればと思います。

【登壇者】

辻医院 院長 辻輝之先生

訪問看護ステーションなごみ 高田看護師

リモート開催

※切 7/14(日)



【開催日時】 2024.7.17(水)18:00～19:30

【参加費】 無料 但し、通信費が必要です。

【申し込み】 QRコード・URL からお申し込み下さい。

<https://forms.gle/nFs4oWTRrnconkCe6>

主催：京都難病ケア Study Group 事務局

より身近に より気楽に 難病支援に関わる者同士のつながりを
大切にしていきたいという思いから「京都難病研究会」を改名しました。